

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている  やや良く なっている	○	○	○
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・好調であった年末年始商戦以降も、客数は前年より 増えている。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・季節商材がけん引した結果、他部門の販売量も増加 に転じている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・年始より来店者が増え、販売台数も回復基調にあ る。消費税増税延期の影響はわからないが、新車販売 は上向いていくだろう。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要があった前年とは比較 にならないが、昨年暮れに相次いで新型車を投入した 効果から、1月の販売は高水準にある。
		乗用車販売店 （役員）	来客数の動き	・今年に入り、新車受注に動きが出ており、四国の販 売店の数字も少しずつ良くなっていくと考えている。 2～3月も期待している。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・現況は変わらないが、これまで長期間取り組んできた 賑わいづくりの効果が徐々に現れてきている。毎月 1回開催している「とくしまマルシェ」は常に1万人 の集客力があり、ユニークな野外市場として全国から 注目されている。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・気温が低い影響か、来街者数が大きく減少してお り、特に週末の人通りが非常に悪い。冬のクリアラン スセールが始まっているが、財布のひもはまだ緩まな い。
		商店街（事務局 長）	販売量の動き	・年末年始に気温が下がり、衣料品の動きは良かった ものの、雑貨や飲食等は振るわず、店舗や業種によっ て業績が分かれた。人通りは昨年より多いと感じる が、売上には結びついていない。
		一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・特に動きはなかった。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・毎年1～2月は気温が低く、料飲店への足が遠のく ため、販売量は伸びない。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	お客様の様子	・必要な物しか買わない顧客が多く、買上点数が伸び ていない。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・食品・大型専門店是好調な一方、衣料品・高額品は 苦戦している傾向が更に顕著になっている。
		スーパー（店 長）	競争相手の様子	・競合店も同様に客足は鈍い。特段、業績が良いとい う情報も聞かないことから、現況はあまり良くない。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・前年に比べ正月休みが1日少なかったことから、1 月上旬の客数が若干落ちている。客単価は値上げ等の 影響から前年を上回る状況が続いている。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・買上点数を増やす努力をしているが、なかなか増え ない。客数の微減を単価の上昇で補っており、売上は 横ばいの状態。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・1月はセール月であるため一定の来客はあったが、 昨年と比べて来客数は減り、販売単価も下落してい る。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	来客数の動き	・来客数は横ばいか微減で推移している。
		観光型旅館（経 営者）	販売量の動き	・客足は少し伸びているが、売上はあまり伸びていな い。賃金が上がらず、所得が増えない状況では客単価 は伸びない。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・年末商戦が終わり、新生活シーズンまでの間は落ち 着いた動きとなる。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・12月頃から、低廉なサービスが伸びている一方、高 価なサービスは減っている。売上は減少傾向にある が、解約数は増加していないので悪くなっているとは 言えない。
		通信会社（支店 長）	販売量の動き	・昨年9月頃が景気の底で、それ以降は上向いている と考えているが、数値として現れるには至っていない。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・昨年並みで推移している。

	美容室（経営者）	来客数の動き	・特に変化がない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・各種値上げによる消費マインドの低下が続いている。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・仕事は増えてきているが、儲けは出ていないと言う事業者が多い。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・消費税増税前を除いて、例年とあまり変化は無い。
やや悪くなっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・人通り、来客数、販売量すべて減少している。繁華街の人出は少ない。消費税増税の影響で、単価の安い商品を購入する傾向がみられる。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・必要な物しか買わない動きが見受けられ、来客数も減ってきている。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・昼間に来店する主婦層の単価が下がっている。景気に敏感な層なので、節約モードに変わったように感じる。他の時間帯では客単価に変化はない。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・年末年始の売上が振るわず、前年比マイナスのスタートとなった。その後も、週末は前年割れが続いている。
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温や天候の影響が大きく、来店客数は前年割幅が拡大している。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・年始は相当快調であったが、冬物バーゲンの調子が悪く、結果的に1月の売上は前年に比べかなり減少している。
	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・売上は前年を大きく下回り、非常に厳しい状況である。特にランクの高い顧客の動きが鈍く、DMや電話での訴求の効果が薄くなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注状況は消費税増税前の昨年に比べるとかなり減少しているが、ガソリン価格の下落は受注回復にプラスになると期待している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年が明けても、景気は落ち込んでいる。
	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・国内旅行の申込は順調だが、海外旅行は円安や海外で続発するテロの影響でヨーロッパを中心に申込が激減している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客単価が悪くなっている。また、平日の夜間や晴天の日は客足が鈍い。
	観光遊園地（職員）	お客様の様子	・夜の繁華街の客の混み具合は少ない。
		競艇場（職員）	販売量の動き
悪くなっている	タクシー運転手	来客数の動き	・例年、1～2月は悪いが、今年は1月の売上としては、過去最低水準であった。2月も日数が少ないのでタクシー業界は悪く、明るい兆しは見えない。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	食料品製造業（商品統括）	受注量や販売量の動き ・食品は、節約の対象になりやすいが、価格も販売も持ち直しつつある。
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き ・地域によってばらつきがある。外国人観光客が多く訪れる地域は活況のようである。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き ・当社主力の造船関連受注が順調である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・当社は再生可能エネルギー関連の比重が大きい。国策による固定価格買取制度の価格引下げなどの影響により、駆け込み受注が増えつつある。今後も受注量は増えると見込んでいる。
変わらない	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き ・市場入荷量が少ないにもかかわらず、引き合いは強くない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き ・堅調な国内受注に加え、海外も比較的順調に推移している。	
	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き ・受注高、売上高とも横ばいで、利益が出そうにない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き ・受注量、販売量とも堅調に推移しており、大きな増減はない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き ・受注が伸び悩んでいる。	

	輸送業（営業）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月は12月の消費増の反動を受け取扱量が著しく低下した。2月以降に食品などの値上げが予定されているが、駆け込み需要の兆候も見られず、円安による物価上昇が日常生活に影響を及ぼしていると言わざるをえない状況である。</li> </ul>	
	通信業（部長）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先の様子を何う限り、アベノミクスはいまだ地方にまでは浸透していない。</li> </ul>	
	公認会計士	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の決算を見ると、大多数の企業が前年とほとんど変わらない。</li> </ul>	
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・為替による原材料高騰が、利益を圧迫している。</li> </ul>
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意先からの受注にもとづく販売量に3～5%程度の微減傾向が見られる。</li> </ul>
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客企業の荷動きは依然停滞気味である。</li> </ul>
	悪くなっている	—	—	—
雇用関連	良くなっている	—	—	—
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種にばらつきがあるものの、求人数は増加傾向にある。</li> </ul>
		人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の人材不足を解消するため、派遣、パート、契約社員雇用から正社員登用型へと求人情報に変化がみられる。人的スキルがあれば、今後求職者の正規雇用がさらに増加する傾向にあり、景気もその分良くなる。</li> </ul>
		求人情報誌（営業）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度春入社の新卒採用が終了しており、企業は不足人数を中途採用で補充する動きがある。そのため、中途採用市場が活発化している。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の月間有効求人倍率は1.20倍で、3か月前と比較して、0.1ポイント上昇している。</li> </ul>
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の企業において、有効求人倍率の低い事務職で正社員募集をかははじめているものの、全体としては、雇用を増やす顕著な動きはみられない。</li> </ul>
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人広告の件数は好調を維持しているが、折込チラシやSPなど企業向けへの販売部門は相変わらず低迷しており、消費税増税前の水準に戻る兆候はない。</li> </ul>
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転職を考える時に、今より好条件の職探しが難しいと考えているケースが多いため、求職者数が減少している。現在の勤務先に不安を感じている人が多いが、転職に踏み切れないでいる。</li> </ul>
	やや悪くなっている	—	—	—
	悪くなっている	—	—	—